

# 多高能度チェックシート

## 採点方法

- ① 各項目について、「評価基準」を参考にして、「採点欄」に「0～5の6段階」で工場の実力値を評価する。
- ② 「重要度考慮点」には、「重要度」÷5×「①で付けた点数」を計算して記入する。
- ③ 全項目の「重要度考慮点」の総和が、100点満点中の実力値となる。
- ④ 83ページのように、レーダーチャートに③の結果を入れ、製造基盤の大きさを確認し、強化に役立てよう。

※評価基準を確認し、どうすれば現状より高い点がつけられるのか具体的に考察することが重要。

No	重要度	評価項目	採点欄	重要度考慮点	評価点	評価基準
1	25	多能工化 ＜実行度＞			5 3 1	多能工化が実際に進んでおり、必要に応じて柔軟に助け合える職場ができている ある程度の多能工化が進んでいる 必要な多能工化を進めている
2	10	スキルマップ の整備			5 3 1	毎年必要なスキルマップ表の更新が行われ、 年に2回以上、確実な3現主義にて評価され、本人にフィードバックされている 年に1回以上評価し、本人にフィードバックされている 不定期に評価している
3	10	スキル評価 基準			5 3 1	スキル評価基準が明文化され、周知されている スキル評価基準がある 評価者の判断に任せている
4	10	スキル評価 要領			5 3 1	スキル評価者、評価要領が明確に決められており、 常に周知されている スキル評価者、評価要領が決まっている スキル評価は評価者の判断に任せている
5	5	資格取得			5 3 1	必要な公的資格と必要に応じた社内資格が定められ、有資格取得者が周囲にわかるように掲示板やユニフォームなどで明確になっている 必要な公的資格と必要に応じた社内資格が定められ、有資格取得者が明確になっている 必要な公的資格と必要に応じた社内資格が定められている
6	5	資格取得の ための活動			5 3 1	必要な公的資格または社内資格の取得促進を具体的に支援する制度がある 必要な公的または社内資格の取得を促進している 必要な公的または社内資格の取得促進は職場管理者に任せている
7	10	多能工化の 見える化			5 3 1	誰が何をできるか、どのような資格を取得しているか職場での見える化が確実にできている 誰が何をできるか職場での見える化ができている 管理職だけで理解している
8	5	多能工化計画			5 3 1	必要な多能工化を進めるための詳細計画が組織として具体的に明確になっている 部署ごとに必要な多能化を進めるための計画がつくられている 明文化されているものはなく管理者任せになっている
9	5	多能工化の ための 責任者明確化			5 3 1	多能工育成の責任者がエリアごとや項目ごとに決まっており、責任者は積極的に取り組んでいる 多能工育成の責任者がエリアごとや項目ごとに決まっている 多能工育成は責任者任せとなっている
10	5	教育訓練 システム			5 3 1	工程別の必要な教育プログラム、技術・技能系プログラム、管理職への定期的な教育システムなどが整備され、技術・技能・マネジメント力の維持・伝承が問題なく進んでいる 現場の技術・技能・管理力向上に役立つ教育研修、勉強会が定期的に行われている 必要時に教育訓練、研修等を行っている
11	10	ローテー ション			5 3 1	従業員の希望を踏まえた適度なローテーションが定期的に行われ、多能工が育成されやすい環境が作られている 適度なローテーションが定期的に行われている 必要に応じてローテーションを行っている